

# Construction Project Delivery System Council Symposium 2018

一般社団法人建設プロジェクト運営方式協議会 法人化1周年記念シンポジウム

## AIとIoT、官民連携が変える 建設プロジェクトの未来

開催日

2018年5月15日(火)  
13:00-16:20(予定)

会場

日経ホール  
千代田区大手町1-3-7(定員610名)

参加  
無料

日々革新的な進化を遂げている人工知能(AI)やIoTを建設プロジェクトでどう活用するか、また、公共事業における官民連携をどう推進するか。これらは今後の日本の建設マネジメントのあり方、そして世界でも通用する合理的な建設プロジェクト運営のあり方を考えるうえで重要なカギを握っている。本シンポジウムでは社会システムそのものの大変革の可能性を秘めた最先端のAIやIoT技術が未来の建設プロジェクト運営にどのような影響を及ぼし、発注者と受注者のwin-winの関係構築に寄与するかを考える。また、公共インフラ運営における官民連携の形として、PPP・コンセッションの先進事例を手掛かりに、これからの建設プロジェクトの未来の姿を共有したい。

### タイムテーブル

#### 1. 主催者あいさつ

花村 邦昭 会長  
学校法人大妻学院 顧問

#### 2. 来賓ごあいさつ

内閣総理大臣補佐官 和泉 洋人 様  
国土交通省技監 森 昌文 様

#### 3. 活動報告

#### 4. 講演ならびに質疑応答 1

「人工知能がもたらす未来」  
松尾 豊 氏(東京大学大学院特任准教授)

(休憩 15分)

#### 5. 講演ならびに質疑応答 2

「官民連携がプロジェクトを動かす」  
福田 隆之 氏(内閣府大臣補佐官)

閉会 (16:20)



## 登壇者プロフィール



**松尾 豊 氏** 東京大学大学院特任准教授

1997年東京大学工学部電子情報工学科卒業。2002年同大学院博士課程修了、博士(工学)。同年より産業技術総合研究所研究員。2005年10月よりスタンフォード大学客員研究員。2007年10月より東京大学大学院工学系研究科総合研究機構／知の構造化センター／技術経営戦略学専攻准教授。2014年より東京大学大学院工学系研究科技術経営戦略学専攻 グローバル消費インテリジェンス寄付講座 共同代表・特任准教授。2002年人工知能学会論文賞、2007年情報処理学会長尾真記念特別賞受賞。2012年～14年、人工知能学会編集委員長を経て現在は倫理委員長。専門は人工知能、Webマイニング、ビッグデータ分析、ディープラーニング。



**福田 隆之 氏** 内閣府大臣補佐官

株式会社野村総合研究所にて、初の国実施PFI(2002年)である財務省案件をはじめ、防衛省・大阪府・新潟県・道路公団等へのPFI・民営化アドバイザー業務、経済産業省や金融機関等へのインフラ投資市場調査業務、民間企業のPFI事業参入支援業務等に従事。2012年3月からは新日本有限責任監査法人にてインフラPPP支援室長として仙台空港案件をはじめとするコンセッション関連アドバイザー業務を統括。2016年1月より現職で公共サービス改革等を担当する。国交省空港運営のあり方に関する検討会委員や内閣官房産業競争力会議実行実現点検会合(公的サービス・資産の民間開放)の有識者等も務める。主な著書に「入門インフラファンド」、「改正PFI法解説」(東洋経済新報社)。

## 過去のシンポジウム

### 第1回 建設プロジェクト運営方式の多様化に向けて (2016年5月10日、日経ホール)

- ・基調講演 講師：楠木 建氏(一橋大学大学院国際企業戦略研究科教授)  
演題：「ストーリーとしての競争戦略」
- ・事例等報告
- ・パネルディスカッション



### 第2回 多様化する建設プロジェクトの担い手像 (2017年5月16日、日経ホール)

- ・基調講演 講師：隈 研吾氏(建築家、東京大学教授)  
演題：「建築と都市の新時代」
- ・調査研究報告



## 参加申込み方法

氏名、所属、人数、連絡先(メールアドレス)記載のうえ **info@cpds-c.jp** (CPDS 協議会事務局宛) までメールでお申し込み下さい。定員に達し次第、締め切らせて頂きます。

